

# 豊年SADOT

豊年へ式も祭と名を変え

熊本県農業祭も本来なら農事試験場新築落成式というところだが、

天長節、明治節、そして文化の日

十月三日といえば明治ツ子には殊に懐しいノスタルジアがある

馬肥ゆるばかりではなく牛も肥え

秋空一碧、白雲悠悠、そして牧場には肥えふとつた牛馬の群

子守唄テンポの合わせぬ楳の音

市房峽谷ののびやかな霧閉気にダイナミックな電源開発の響き

普及員今日も野をこえ山をこえ

改良普及事業十周年祝賀のうらには普及員のあくなき努力がある

団体の接待がりへへと苦勞

団体開催を明後年にひかえて、富山国体へ接井知事以下見学行

## 11月番組

### RKK 県政だより

(日曜)	(テーマ)	(形式)	(担当課)
1(土)	農繁期は共同炊事で	現録	広 報
4(火)	完成近し県立図書館	対談	社会教育
6(木)	救いの手は零細企業に働く人々へも	対談	失 保
8(土)	秋の交通安全	対談	県 警
11(火)	花咲く丘の子供達	現録	公衆衛生
13(木)	話し合い運動で公明選挙	対談	地 方
15(土)	その後の阿蘇火山	現録	観 光
18(火)	体に果喰う虫	対談	予 防
20(木)	しあわせをつかむ婦人たち	対談	社 会
22(土)	進んで納税	対談	税 務
25(火)	火災予防のすべて	対談	消 防
27(木)	熊本県農業祭にあたって	対談	副 知 事
29(土)	チリもつもれば(貯蓄推進)	現録	地 方

〔註〕 現録は現地録音のこと。

### RKK 農家の手帖

日 曜	放送テーマ
1 土	11月の農業気象と農作業
2 日	玉ねぎの定植
3 月	麦の種子消毒のやり方
4 火	麦作金肥の使い方
5 水	桑の結束について
6 木	催芽乾燥種子のつくり方
7 金	この頃の果樹園の手入れ
8 土	ナタネ作金肥の使い方
9 日	みかんの市況
10 月	なたねの直播き
11 火	33年度米の出荷促進について
12 水	麦の土壌害虫の防ぎ方
13 木	この頃の桑の害虫駆除
14 金	これからの綿羊管理
15 土	イ草の植付について
16 日	桑の寒肥の準備
17 月	稲早期跡そ業の管理
18 火	精英樹のはなし
19 水	青果物の市況
20 木	大根の加工
21 金	飼肥料木について
22 土	冬の養豚管理
23 日	加工原料みかんの出荷について
24 月	自家用桑苗の堀取りと秋植について
25 火	昭和34ワラ工年度に当つて
26 水	林地のシダ下刈について
27 木	農業改良10周年に当つて
28 金	桑苗の堀取りの調整
29 土	椎茸の乾燥について
30 日	BMだより

### NHKローカル 早起鳥

日 曜	メートル法の完全実施について
2 日	11月の農業気象と農作業
3 日	麦の種子消毒のやり方
4 日	桑の結束について
5 日	移植ナタネの管理
6 日	催芽乾燥種子のつくり方
7 日	予 備
8 日(土)	ノリシビの管理と病害対策について
9 日	落葉果樹の植付について
10 日	このごろの桑の害虫駆除について
11 日	移植ナタネの管理
12 日	シイタケ原木の伐採から仕込みまで
13 日	今年の第1回の農業改良資金のかしつけが定まりました
15 日(土)	今年の漁船検認を省みて
16 日	昭和33年度米の出荷促進について
17 日	麦の土じよう害虫の除き方
18 日	寒さをひかえたメン羊のかんり
19 日	スギタマバエの秋期発生とその防除
20 日	陸地綿の栽培について
21 日	予 備
22 日(土)	ノリ格付けについて
23 日	桑の秋うえについて
24 日	今年のカンスメミカンの販売について
25 日	予 備
26 日	カンショの加工について
27 日	エンシレージの与え方
29 日(土)	川漁場における拾いのりについて
30 日	BMだより

### 広報くまもと

121号

昭和33, 11, 1 発行

★

発行所 熊本県広報課

熊本市行幸町19

発行編集人 村上清蔵

印刷所 白石印刷出版

熊本市島崎町

電話 ② 6812

昭和32年6月25日  
第三種郵便物認可

十一月は文化の月。日頃気にしなかつた文化という言葉の意味を考えてみよう。文化といえは何か現実から程遠い美しく高いもののように思うのだが生活そのものの中に文化は生かされなくてはならないものだし新生活への踏切りもその一つの現れなのである。